

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こばんはうすさくら 土浦教室		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 9日 ～ 2026年 1月 8日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	2025年 12月 9日 ～ 2025年 12月 17日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 30日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	◆立ち上げ期で1日の利用児童が少なく、一人ひとりの様子や特性を丁寧に把握しやすい環境にある。 →個々の特性や発達状況に目を向けやすく、安心して過ごせる環境作りができる。	・職員が個々の関りを重視でき、信頼関係を築きやすい環境作りができている。 ・子どもの状況に応じて集団活動のなかでも子供に合わせた個別支援ができる体制が整っている。	・今後利用児童が増えた場合でも、少人数支援で培った丁寧な関りを教室全体の支援の基盤として継続していく。
2	◆支援内容や運営方針を最初から固定化することなく、職員間でよく話し合いながら柔軟に見直しを行える体制がある。 →子ども、保護者の声を反映しながら支援のあり方を丁寧に検討できる。	・職員間で日々の支援について話し合いを行い、気づきや課題を共有することで支援の質の向上を意識している。 ・保護者との連携を大切に、安心して利用頂ける関係づくりを心がけている。	・利用児童の増加を見据えながらも、研修への参加、自己評価の取組を通じて職員の専門性を高めるように努めている。
3	◆施設の活動スペースは2部屋構造で、見通しもよく、また、段差が少なく安心して過ごせる環境となっている。 →職員の目が行き届きやすく、安全管理や見守りがしやすい体制となっている。	・活動内容や子どもの状況に応じて部屋を使い分けたり、落ち着いて過ごせるように努めます。 ・転倒等の事故防止のため、日々の支援の中で安全管理を徹底し、気づいたことは職員間で周知しています。	・今後は子どもの特性や成長に応じた環境調整や備品の充実を進め、より安心して過ごせる空間作りを進めていきます。 ・安全性と落ち着きを重視した施設環境を維持するために、児童対応を最優先で認識し、定期的に施設の点検等を行っていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	◆立ち上げの教室であるため、現在は利用児童が少なく、日によっては利用がない、または少人数での支援となる日がある。	・開設からの期間がまだ短いことと、地域の関係機関への周知が十分に行き届いていないことが要因の1つと考えられる。 ・また、見学などの受付回数もまだ少ないことも影響している。	・関係機関や相談支援事業所との連携を図り、教室の支援内容や特徴を丁寧に伝えて理解を得ていく。 ・見学なども気軽にできるような体制の仕組みを整えて教室を知ってもらう機会を増やす。
2	◆地域との連携や交流の機会が少なく、地域資源を活かした支援に十分つなげることができていない。	・まずは教室の支援体制を整えていく事を優先にしてきたことから、地域施設との連携や活用について十分な対応ができていなかった。	・今後は児童発達支援の活動の一環として、児童館の利用を検討し、職員の方とも情報交換をしていき、子どもが慣れてきたら行事の参加も検討していく。 ・外出活動を通じて地域の中での経験を深められるように活用できる時間帯を全体で周知し、活動の可視化を進めていく。
3	◆利用児童が少ない日の職員の配置・業務内容が十分に整備されていない部分がある。	・まだ事務フローが確立途中であり、支援以外の時間の活用方法や考え方に職員間でバラつきがある。	・今だからこそできる研修の時間をとったり、マニュアルを整備し、支援の質向上につながる動きを職員全体で共有して体制を強化していく。